

公益社団法人 私立大学情報教育協会
令和5年度(2023年度)第2回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会議事録

- I. 日時 令和5年7月10日(月)18:00~20:00
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員、治京委員、早坂委員
及川先生(山野美容芸術短期大学)、深町・八代先生(和泉短期大学)、衛藤先生(別府大学短期大学部)、岩田先生(中村学園大学短期大学部)
(事務局 井端事務局長、中村、山田)

III. 報告事項

1. 短期大学教育改革 ICT 戦略会議開催要項について

① 開催趣旨は、短期大学と自治体又は地域社会等が協働する地域貢献支援活動の効果的な在り方を探求するため、私立短期大学のコンソーシアムで試行した成果を報告した上で、現在学生主体ですすめている ChatGPT を活用した支援事業の取組みや構想を踏まえて、短期大学コンソーシアムで学生が連携して試行する地域貢献支援活動のニーズ及び教育効果、運営上の課題を共有し、推進の可能性等について協議することにした。

② プログラムは、最初に話題提供として、主体的・協働的に学ぶ AL、課題解決型学修の PBL、学びを社会に還元する SL によって「予測困難な時代に幸せに生きるための力を身に付ける短期大学教育改革の事例紹介」を行う。その中で、将来を思い描くための体験を学生自身が自分で学びをデザインする 2 か月間のセルフデザインチャレンジ(地域でショップを運営、新しいレシピを考案など)のプログラムを紹介いただくことにした。

次に、コンソーシアム活動報告 1 として、「高齢者支援事業を目指した世代を超えた交流活動の成果と生成系 AI を活用した試行」、コンソーシアム活動報告 2 として、「地域価値発見支援事業を目指した真珠価値探求プロジェクトの成果と生成系 AI を活用する構想」、コンソーシアム活動報告 3 として、「短期大学コンソーシアムプラットフォームの紹介」を行うことにした。

その上で、全体討議として、「短期大学コンソーシアムによる地域貢献支援事業の活動を考える」テーマに、地域短期大学等の特性や学生の発想を拓げる手段として Zoom、生成系 AI などを用いた創造的な地域貢献支援事業の有用性と推進策の方向性について、問題提起に基づき意見交流を行い、最後に総括することにした。

③ プログラムの時間配分は、話題提供が質疑含めて 55 分、高齢者支援事業の活動報告 45 分、地域価値発見支援事業の活動報告 30 分、短期大学コンソーシアムプラットフォームの紹介 10 分、全体討議の問題提起 10 分、問題提起を踏まえた討議 40 分、総括 5 分とし、16 時 30 分に終了することにした。

④ コンソーシアム活動報告の進め方は、高齢者支援事業、地域価値発見支援事業とも昨年度年度実施した成果を 20 分程度行う。その上で、高齢者支援事業では生成系 AI を活用した本年度試行している「かるた会」、「ショートストーリー発表会」に ChatGPT を用いて読み札の下書き、イラストの作成、象徴的な生活・社会現象を高齢者から聞き出しショートストーリーとして下書きした実践体験の活動報告を 15 分程度行うことにした。また、地域価値発見支援事業では、「地域の特産品を用いたアレンジレシピを ChatGPT を活用して考え、それを SNS 等で発信していく」をテーマとする構想を紹介することにした。具体的には、SNS で情報発信する際の効果的な方法(キーワード検討、写真技術、画像編集)、食材の特徴や、他の食材との組み合わせ、調理方法や新たな加工方法、新しいレシピのなどのアイデア出しに ChatGPT を用いて解決する構想を紹介することにした。

⑤ 全体討議の問題提起では、学びを社会に還元するサービスラーニングを授業として確立し、社会体験を実践する中で学びを振り返り知識を知恵に転換する仕組みを強調することと、ChatGPT の可能性とリスクを体験させることで社会人に必要な AI リテラシー教育につながるなどが考えられる。なお、詳細は次回委員会で確認することにした。

- ⑥ 全体討議で認識を共有する視点としては、以下の点を概ね確認したが、詳細は次回委員会で改めて確認することにした。
- ※ 大学で学んだことを地域社会の貢献に実体験するサービスラーニング強化の確認
 - ※ 短期大学コンソーシアムによる地域貢献支援活動のニーズの確認
 - ※ 地域貢献支援活動で得られる学びの効果確認
- ⑦ 全体討議で意見交流する内容としては、以下の点を概ね確認したが、詳細は次回委員会で改めて確認することにした。
- ※ サービスラーニング強化の教育プログラムとして、コンソーシアムによる地域貢献支援事業への参加どのように考えるか
 - ※ 地域貢献支援事業を普及推進するための課題と対応策
- ⑧ 運営委員の役割分担については、次回改めて確認することにした。
2. 今後の準備日程については、8月4日の第3回運営委員会で地域貢献支援事業の紹介の仕方について中間経過報告と全体討議の意見交流の内容を整理・確認し、9月15日に資料の確定・印刷、9月20日に座長・発表者・事務局を交えた当日の進め方の最終確認をZoomで行うことにした。
3. その他（今後の委員会日程）
- 次回は、令和5年8月4日(金)午後6時に開催し、上記2に沿って委員からの活動報告コンテンツの確認及び全体討議の問題提起・意見交流を中心に検討することにした。